

# 書写通信

姫路工業大学  
アメリカン  
フットボール部  
OB会報

## TO OLD BLUE

### 2000

### 第8号 [冬号]

2000年12月31日  
編集責任者 田中 角栄  
吹田市津雲台 3-2-A1 1-3 04

### 2001 年度リーグ戦結果報告

Div - A	姫路獨協	神戸学院	兵庫医科	関西外語	姫路工業	流通科学	勝	負	分					
3	姫路獨協	13	3	13	6	6	26	0	0	0	13	2	2	1
5	神戸学院	3	13	6	14	6	6	7	14	34	16	1	3	1
6	兵庫医科	6	13	14	6	0	27	7	27	0	2	1	4	
1	関西外語	26	6	6	6	27	0		13	0	37	0	4	0
2	姫路工業	0	0	14	7	27	7	0	13		21	13	3	1
4	流通科学	13	0	16	34	2	0	0	37	13	21		2	3

今期、関西Divのお大幅なリーグ再編成により、関西外語大、神戸学院大、流通科学大といふ競合チームと同一リーグになり、厳しいシーズンになることが当初より予想されていた。

初戦は、昨期Div-Bブロック優勝の神戸学院との対戦であった。神学院に専制を許してしまったが、強力なランプレイが立続けにロングゲインし、同点、そして逆転に成功した。後半、神学院の攻撃を完封したDiffence陣の力が大いに発揮された。昨年勝星を上げられなかったため、試合終了の瞬間、その場にいた関係者全員から笑顔がこぼれた。

二戦目は、昨期Div-Aブロック優勝の姫路獨協大学との対戦、姫工大のランアタックに対し、姫獨大は積極的なパスアタックで対抗してきた。双方とも攻撃でヤードを進めるが、決定的なチャンスの場面でミス・反則を繰り返し、得点に結び付ける事が出来ないまま試合終了となった。この試合は一戦目の時にあった集中力というものが全く感じられず、またサイドラインとのコミュニケーションも上手い出来ない精細を欠いた試合となってしまった。

三戦目は、兵庫医科大学と対戦した。実力的には十分勝つことが出来る相手であり、前節での姫獨大引分けの反省から集中力で、前半で27対0と試合を決定付けた。しかし、大量得点による気の緩みからか、後半は試合展開が全く逆の立場となってしまった。Downを更新できず、ミスを繰り返し、その隙を兵医大に付け込まれ得点を許してしまった。前節に引き続き、大きな反省を残してしまった試合となった。

四戦目は、強豪流通科学大と対戦、優勝戦線に勝ち残るためにどうしても勝たなければならない相手であった。試合は逆転を繰り返す激しい試合展開となった。流科大はオプションを軸にした攻撃、これに対し工大はパワーランにより応戦。一進一退の状態が続いていたが、第4Qに流科大が自陣深い位置でファンブルしたボールを姫工大が抑え、これを得点に結びつけ試合を決定付けた。

最終戦は、リーグNo.1の実力を持つ関西外語大学との優勝をかけた対戦となった。前半、関外大にゴール前まで攻め込まれる場面も見られたが、Diffence陣が奮闘し得点を許さなかった。なかなかチャンスが作れなかった工大もDiffenceも前半終了間際に敵陣25ヤードまで攻込み、TouchDownパスを狙ったが、惜しくもボールはレシーバーの手に入らずチャンスを生かせなかった。後半第4Qに入り工大に負傷者が続出し始め、先制を許してしまった。何とか優勝を手繰り寄せようとするが、関外大Diffenceを突破することは最後まで出来ないまま試合終了となった。

リーグ戦全体を振り返ると今シーズンの姫工大は、Diffence陣の頑張りでもロススコアゲームに持ち込み、数少ないチャンスをDiffence陣がモノにするという試合を展開していった。このロススコアゲームに持ち込む背景には、フロントライン陣が常に相手を力でねじ伏せるパワーを身に付け、RBがセカンドエフォートで1ヤードを稼げる粘り強さにあった。

しかし悲願のリーグ優勝・2部昇格を実現するにはこれ以上のものが必要であったという結果になってしまった。

## 金谷監督より挨拶（今シーズンを終えて）



いつもご声援、ご支援ありがとうございます。高濱さん、浜岡さん、木畑君、西村君やチームを支えて頂いているスタッフの皆様には、お忙しい中をブルーライナーズのためにご協力いただき非常に感謝しております。

さて、今年一年を振り返ってみると、非常に苦しい状態からチームは始まり色々な試行錯誤を経て、なんとか秋のシーズンに間に合せた選手の皆さんの努力には敬意を表します。その際、ストロングスコーチの鈴木さんや坂野コーチの協力を得られたことは大きな力になりました。しかし、我々は敗れました。1つ1つの試合の敗因としては、ゲームプラン、ミスなど色々な要因があると思いますが、シーズン全体を通して考えてみるとすべての事柄に不徹底があったのだらうと思います。これは、今年に限ったことではなく私が、姫路に戻ってきてからずっと感じていることです。

近年のフットボールは、システム化やプレーの進化により習得しなければいけないこと、覚えなければいけないことが、10年前に比べ格段に多くなっています。また、基礎トレーニングの重要性も以前に増して大きくなっています。

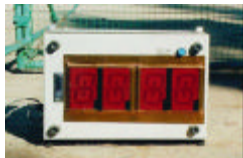
ここ数年の我がチームが今一つ壁を破れないのは、これらの課題に果敢に取り組んでいるものの細部まで浸透していないからでしょう。まだまだ学生らしいというのか、教えてもらったこと指導されたことをできるようになればよいという、受身の姿勢が強くあるからでしょう。フットボールの仕組みを覚え、考え、一つひとつの練習効果を求める貪欲さは過去の単純な時代の選手より劣っていると感じます。

ここ数年、4年生は4年生になってからこの不徹底の払拭に1年間全力を注ぎますが、いかせん時間が少なすぎます。早期に自分達の抱える問題点を見つけ修正する過程で色々な指導を自分達のものにして行けば、もっと良いチームになるのになあと感じることはしばしばです。それができているチームが上位のリーグにいるのだと思います。

来期のスローガンは「一致団結」だそうです。上意下達ではなく、各選手がチーム内でもっと色々な意見を出し積極的に話し合い、多くの選手が様々な試行錯誤を経験し、幹部がそれをついにまとめるチームになるとき新しい展開が見えてくるような気がします。選手一人ひとりが上級生下級生関係なく、多くのことを考え、グラウンドで多くのものを習得し、道のりは遠いですが、「負けるわけが無い」というまでチームを磨き上げてほしいと思います。

### OB会費での購入品の紹介

OB会費を利用し、備品を購入しましたので、ご紹介します。



#### タイムクロック

試合や練習の残り時間を表示させます。



#### スポッター用具一式

試合の時にサイドラインとスポッターとの伝達に使用します。



#### ビデオカメラ

練習内容を撮影してプレーの確認をしたり、スカウティングに使用します。

### スタッフ募集のお知らせ

現在 BLUELINERSではチーム運営をお手伝いして頂くスタッフを募集しています。スタッフと言ってもコーチングスタッフだけではなく、チームの運営を行っていく上で必要なスタッフです。試合を行っていく上で欠かすことの出来ない審判、試合会場の管理、運営担当者、試合の全プレーを記録する統計委員、連盟主催の会議へ出席する評議委員等々、役割は様々です。BLUELINERSは2部昇格を目標に活動を行っていますが、目標が達成された場合、これらスタッフの役割は大きくなります。

関西圏にお住まいの方、週末時間が空いている方、是非あなたのお力をBLUELINERSに貸して下さい。ご協力頂ける方、以下までご連絡をお願いします。

mailto:kaku@qa3.so-net.ne.jp

TEL :090-1968-5639

## 新・旧主将よりの挨拶



本年度主将を務めさせて頂きました稲原です。

現役部員、マネージャー及びOBの皆様方、1年間お付き合いいただき有難うございました。結果を申しますと、リーグ2位で終わってしまい、最終目標を達成することは残念ながらできませんでした。大きな声援と御支援を受けながら、ご期待に添うことができず申し訳ありません。スローガンを「革命」に掲げ、いろいろなことに取り組み、チャレンジしてきた1年でしたが、結果とはそう簡単についてくるものではないなということを、改めて思い知らされました。

私もこれからは、OBとしてこのブルーライナーズ支えて行くことしかできないのですが、本当にいつの日かこのチームが2部でプレーしていてもいいと思います。つい先日までプレーしていた人間として思えることなのですが、時が流れるとともに、チームも変わります。そしてその時、そのチームに一番適した考え方、それを早く見つけ、現役選手、スタッフ及びOB全員が一丸となり

実行出来た時、それがこのチームの2部昇格であると思われまます。これを見ている皆様は、1度は同じ夢に向かい戦ってきた戦士達ですよ。その思いを絶やすことなく、また次の世代に託してやってください。



今期から姫路工業大学アメリカンフットボール部ブルーライナーズの主将になりました渡辺隆之です。昨期はスローガンであった革命を基に前主将の稲原さんを中心にした四回生がチームを引っ張ってくださったおかげで、その前の年の最下位チームから常勝チームへと生まれ変わりました。ブルーライナーズは一戦ごとに強くなり、最終戦の関西外国語大学に惜敗しましたがAブロック準優勝という結果を得ることができました。しかし、その戦力の中心であった四回生が引退した今チームの戦力は激減し、戦力の半分が新二回生という若いチームになりました。そこで、今期のスローガンとして一致団結を掲げます。少数の部員で勝っていくことを考えた場合、一人一人の意識が必要である。一致団結というのは、選手、マネージャー、スタッフが手と手を繋ぎ合せて輪を作っていく。手と手を繋ぎ合い全員の力を合わせてよい堅くて強い輪ができていけばブロック優勝そして、二部昇格も不可能ではないと思う

もし、手を繋いでいない者がいたら周りのものがちゃんと手を差し伸べてやりその輪へと繋ぎ合わせてやる必要がある。そのためには上下関係なしに全員が互いに協力しあうことが大事となる。だから四回生やからとか一回生やからとかは絶対いらない。協力できることはお互い協力しあわなければならない。今のチームやったら絶対できる。そのためにも主将としてその輪が途中で途切れそうになつたりしないように引っ張っていくつもりです。今期は例年にもまして厳しい年になることは間違いないだろう。だからといってあきらめてはおもしろくない。ブルーライナーズの伝統を汚すことになる。我々の最終目標である2部昇格にむけて全力で取り組み、チームが一致団結してがんばります。そのためにもOBのみならず、学生スタッフ、そしてブルーライナーズに関わるすべての人のお力添えが必要です。どうか今年1年間よろしくお願いします。

## 編集後記

新しいチームが始動し新幹部から目標や決意が表明されるこの時期、少し思うのは、「本当にその目標は妥当なものなのか？」です。近年3部Aブロックでは好成績を収めており2部昇格といったのは悲願となっています。新幹部としては当然自分の代で成しえる最高の目標を設定したいと思う。何を消極的なことを諸兄からお叱りを受けるかもしれないが、誤解を恐れず書かせてもらえば、これまで選手主導でチームを作ってきた過去を振り返ると、1年という短い介入でとにかく目標を達成するために未完成のままでも多くのことに取り入れ、優勝決定戦や入れ替え戦では少ないチャンスをものにして勝つことが要求されてきました。このことは裏返せば長期的な視野でチームとしての総合力を年々底上げするのに大きく貢献しておらず、我々スタッフの力の至らないところです。敵を知り己を知れば百戦危うからずと同じで、まずは今の自分たちのレベルを客観的に知り、目標とするレベルのパワーステップ、戦術を冷静に分析すればおのずと到達するための方法や手段はわき上がってくると思います。新チームの目標が是非達せられることを祈ります。



## 昔の俺、今の俺

今回は、ちょっと若い世代の多田さんの登場です。

OB 現役の皆さんこんにちは！私は1992年(平成4年)金属材料工学科卒業(63K)の多田裕之です。今回、この書写通信の編集責任者でひとつ先輩である匠さんから投稿の依頼を受けた時は正直言ってビックリしました。もっとふさわしい諸先輩方をさしおいて、私なんか投稿するのは少し気が引けますが、若い(自分ではそう思っている)OBからの投稿もいいかな~と思い、引き受けることにしました。

まず最初に私自身の事について紹介したいと思います。私は卒業後、エアコンでおなじみのダイキン工業㈱で働いています。今現在はダイキン工業の販売会社でありますダイキン空調静岡㈱に出向しております。静岡に来てからは6年が経ちました。その間に結婚し、娘が二人(3歳と5ヶ月)います。写真は家族で三保の松原(清水市)に行った時のものです。静岡県というと、なんと言っても富士山です。富士山を見ていると心が洗われるような気がして、仕事中でもしょっちゅう車を止めて30分くらい眺めたりしています。(よくクビにならんもんや!) 皆さんも静岡に来られた折にはぜひ家に寄って下さい。その時には、おいしい魚と焼酎でおもてなしをいたします。(家の方は狭いので、多少寝づらいですが...)



さて、私の現役時代の話をしさせて頂きますと、私は最終的にはオフェンスはガード、ディフェンスはLBをやっていました。それまでにはいろいろやってみて、QB以外にはラインRB・レシーバー(ブロック専門)のQBと、ほぼすべてのポジションを経験しました。(今から考えると、得意なポジションがなかったのですネ!) また、私たちの学年はというと、3人(私と今年の10月に結婚したばかりの岩永君、そして現在所在不明の春井君)しかおらず、何かと大変でした。すべてのことを3人でこなさなければならず、夏の合宿では、マネージャーも1人もいない状態でへとへとになり、6時半に起きて朝食の準備をしなければいけないのに目が覚めた時は7時を回っていたということがありました。その時、罰としてスーパーアジリティー(通常のものより先距離が長いバージョン、最近のアジリティーとは全く違います)を徳川先輩(通称:マティーさん)にさせられたことを覚えています。それから私が4年生になって主将をさせていただいた時には、口では優勝と言っていましたが、心の中では今年は無理かな~なんて思っていたりしました。特に一つ下の代のメンバーが豊富だった(QB・RB・ラインが質量ともに充実)ので、少しでも来年につながればと、夏合宿に入ってから基礎体力作り(ダッシュやさまざまなコンタクトの練習)ばかりしていた事を思い出します。細かなプレーやアサインメントはすっかり3年のQB白田君に任せっきりでした。しかし結果はわからないもので、開幕戦は負けたものの、1年生に有能な人材が入ったこともあり、2戦目に劇的な勝利を納めると、その後は勢いで勝ちつづけてしまいました。開幕戦でうちに勝った鳥取大は自らこけてくれ、終わってみればなんと優勝しちゃってました。非常にラッキーな優勝だったと思います。ただ一つの心残りはというと、私自身が最終戦でケガをしてしまい、入れ替え決定戦の大工大戦に出られず、そのまま敗退してしまったということです。

さて、最近はというと、まったくアメフトには関わることはありません。OB戦に行くのにも遠く、特に静岡では完全にサッカーにおさられて、国内での試合のテレビ中継もほとんどなく、甲子園ボウルやライスボウルぐらいしか見ることが出来ません。週に1回、BSでNFLを見るのだけを楽しみにしています。(家族には嫌がられていますが...) 体を動かす事は仕事でエアコンを運ぶ時とゴルフの時ぐらいです。ゴルフの方はかなりのめいんでいますが、スコアは100をやっと切る程度です。しかしながら、静岡は良いゴルフ場も多く、特に富士山を見ながらのプレーはなかなかいいものです。OBの皆さんもかなり年齢が高くなってきた方も増えてきましたので、OB戦にも出場しづらくなってきていることだと思います。そこで、来年のOB戦はオyajのイベントとして、翌日にゴルフコンペなどを開催してみてもどうでしょうか?

まだまだ書きたいことはたくさんありますが、原稿枠もあると思いますので、これぐらいにしたいと思います。最後に一言、今年、我がBLUE LINERSはリーグ優勝したそうで、本当におめでとうございます。チームを誇りに思います。選手・マネージャーやコーチ、その他のスタッフの皆さん、大変ご苦労様でした。来年はぜひ、2部が上がったという報告を聞かせてほしいです!! それでは私からの報告はこれにて終了したいと思います。次の投稿の依頼は一つ先輩で大変お世話になった伊藤さん(通称:いとちゅさん)をお願いしたいと思います。